（PR 版）

作ってみませんか、寒ギク

—品種と作型—　　福井県園芸試験場

１　はじめに

近年、福井県内で花きの出荷品目と数量が減少する冬季の切り花出荷の希望が強くなってきました。生産農家の方が普通にお持ちの無加温フィルムハウスを利用して 11～12 月の冬期に出荷できる寒ギク栽培技術を開発しましたので紹介します。

２　簡易な雨よけハウスが利用できます

写真１　栽培に利用するハウス

写真２　ハウスの栽培状況

写真３
結束された直売用花束

写真４　店頭に並べられた花束

寒ギクの栽培には、フィルムハウスを利用することで、美しい切り花が栽培しやすくなります。
県内での年内出荷なら無加温で栽培できます。

３　冬期の切り花は色鮮やかです。直売でも人目を惹きます。

各作型出荷に適した品種は以下の通りです。

かおり（11 月）

キャロル（11 月）

花園（11 月）

朝霧（11 月）

あけぼの（11 月）

金ほまれ（12 月）

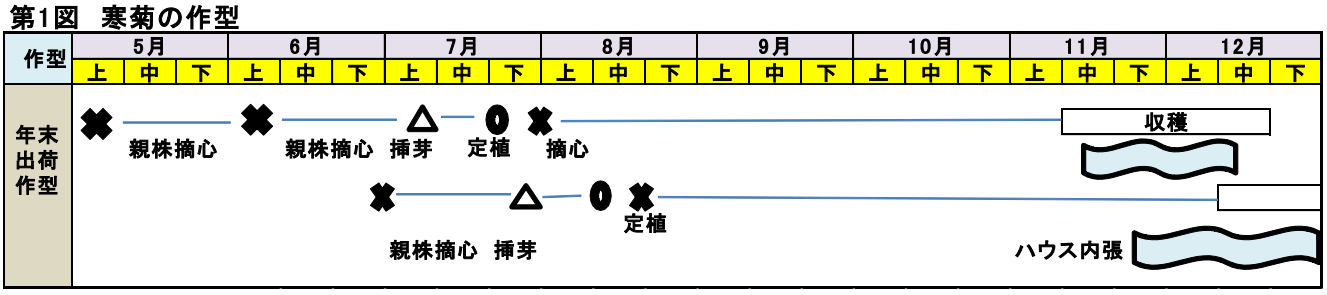
七福（12 月）

あいり（12 月）

夢ほまれ（12 月）

雪ほまれ（12 月）

４　作型

挿し芽は７月上～下旬、定植は７月中旬～８月上旬、収穫は 11～12 月に行えます。

第1図　寒菊の作型